

# 経済・金融 フラッシュ

## ユーロ圏GDP(2023年7-9月期) —前期比成長率が再びマイナスに

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

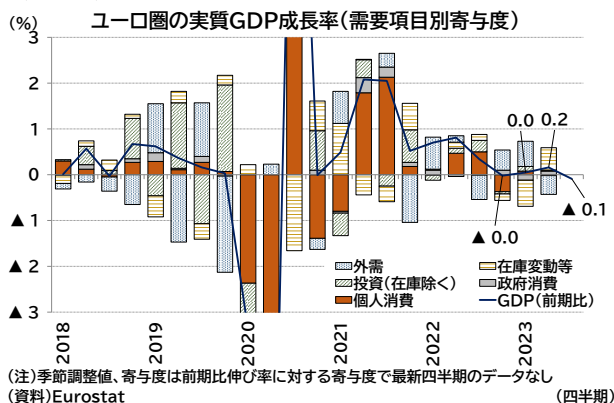
### 1. 結果の概要: 前期比はマイナス、前年比も0.1%増にとどまる

10月31日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏GDPの一次速報値(Preliminary Flash Estimate)を公表し、結果は以下の通りとなった。

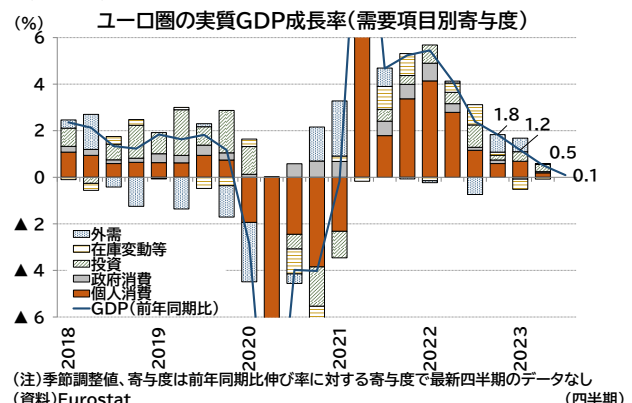
#### 【ユーロ圏20か国GDP(2023年7-9月期、季節調整値)】

- ・前期比は▲0.1%、市場予想<sup>1</sup>(0.0%)を下回り、前期(0.2%)から低下した(図表1)
- ・前年同期比は0.1%、市場予想(0.2%)を下回り、前期(0.5%)から低下した(図表2)

(図表1)



(図表2)



### 2. 結果の詳細: ドイツの停滞が目立つ

ユーロ圏の23年7-9月期の成長率は前期比▲0.1% (年率換算▲0.4%)とマイナス成長となった。マイナス幅は限定的だが、コロナ禍以降で見ると最大のマイナス幅でもある。また、ユーロ圏では22年10-12月期以降はほぼゼロ成長となっており(22年10-12月期は前期比▲0.0%・年率換算▲0.1%、23年1-3月期は前期比0.0%・年率換算0.2%、4-6月期は前期比0.2%・年率換算0.6%)、昨年夏(22年7-9月期)対比の実質GDPの水準(=前年比)は0.1%にとどまる。なお、コロナ禍前(19年10-12月期)対比では3.0%となった。

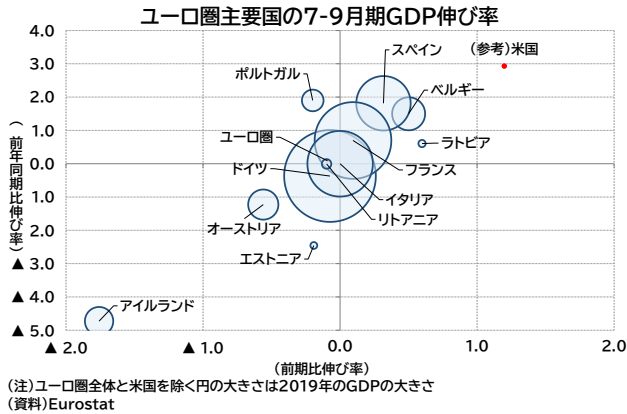
経済規模の大きい4か国の伸び率を見ると、前期比ではドイツ▲0.1%(4-6月期0.1%)、フランス0.1%(4-6月期0.6%)、イタリア0.0%(4-6月期▲0.4%)、スペイン0.3%(4-6月期0.4%)となり、イタリアは4-6月期から改善したが、他の3か国は4-6月期から悪化している。

昨年夏(22年7-9月期)対比の実質GDPの水準(=前年比)を成長率が公表された11か国に

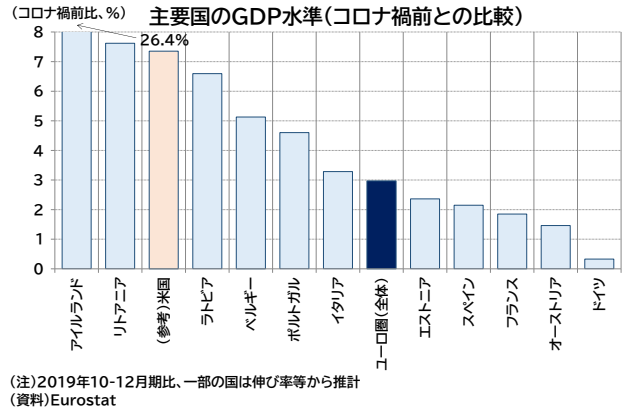
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想も同様

ついて確認すると、アイルランド (▲4.7%)、エストニア (▲2.5%)、オーストリア (▲1.2%)、ドイツ (▲0.4%)、リトアニア (▲0.0%)、イタリア (0.0%) が夏以下の水準にとどまる (図表3の縦軸)。また、コロナ禍からの回復具合で見るとドイツの遅れが目立っている (図表4)。

(図表3)



(図表4)

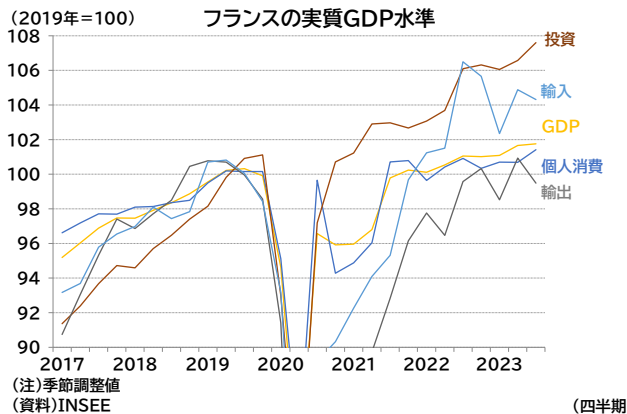


次にフランスとスペインは各国統計局 (フランス国立統計経済研究所 (INSEE)、スペイン統計局 (INE)) がGDPの詳細を公表しているのので、以下で見ていきたい。

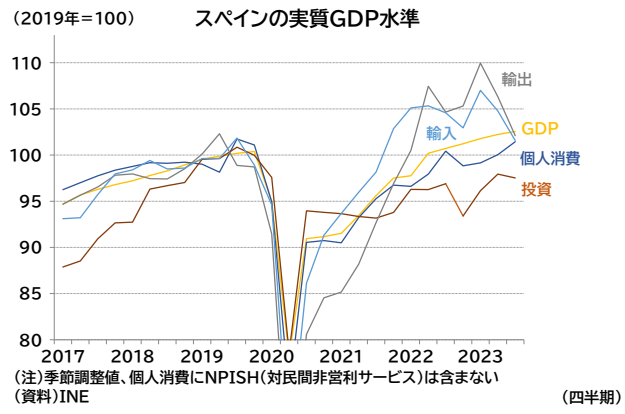
フランスの成長率 (前期比) を需要項目別に見ると、個人消費 0.7% (前期▲0.0%)、政府消費 0.4% (前期 0.2%)、投資 1.0% (前期 0.5%)、輸出▲1.4% (前期 2.4%)、輸入▲0.5% (前期 2.5%) となった (図表5)。在庫変動の前期比寄与度は▲0.3%ポイント、純輸出の前期比寄与度は▲0.3%ポイントであり、輸出は弱含んでいるものの内需は底堅かった。

産業別の付加価値は、工業が▲0.2% (前期 1.3%)、建設業が▲0.1% (前期▲0.3%)、市場型サービス産業 0.1% (前期 0.7%)、非市場型サービス 0.1% (前期 0.8%) となり、7-9月期は工業の弱さをサービス業が補う形となった。より細かい業種では、工業のうち製造業が前期比▲0.3 (前期 1.2%)、サービス業のうち輸送業が前期比▲2.1% (前期▲0.7%)、居住・飲食業が前期比▲0.5% (前期 0.9%) と弱かった。一方、情報業は前期比 1.4% (前期 2.0%) と高めの成長を記録した。

(図表5)



(図表6)



スペインの成長率 (前期比) を需要項目別に見ると、個人消費 1.4% (前期 0.9%)、政府消費 0.6% (前期 1.6%)、投資▲0.4% (前期 1.9%)、輸出▲4.0% (前期▲3.3%)、輸入▲3.1% (前期▲2.1%) となり、消費は高成長率が持続しているが、輸出の悪化が著しい (図表6)。産業別には、工業が▲0.6% (前期▲1.2%)、建設業が▲0.6% (前期 0.8%)、サービス業が 0.9% (前期 0.8%) だった。細かい業種で見ると7-9月期は芸術・娯楽業 (11.9%、前期 3.1%) の伸びが目立った。

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。